

BEIJING REPORT! No. 4

教育活動編

在中華人民共和国日本国大使館附属北京日本人学校 入川琢仁

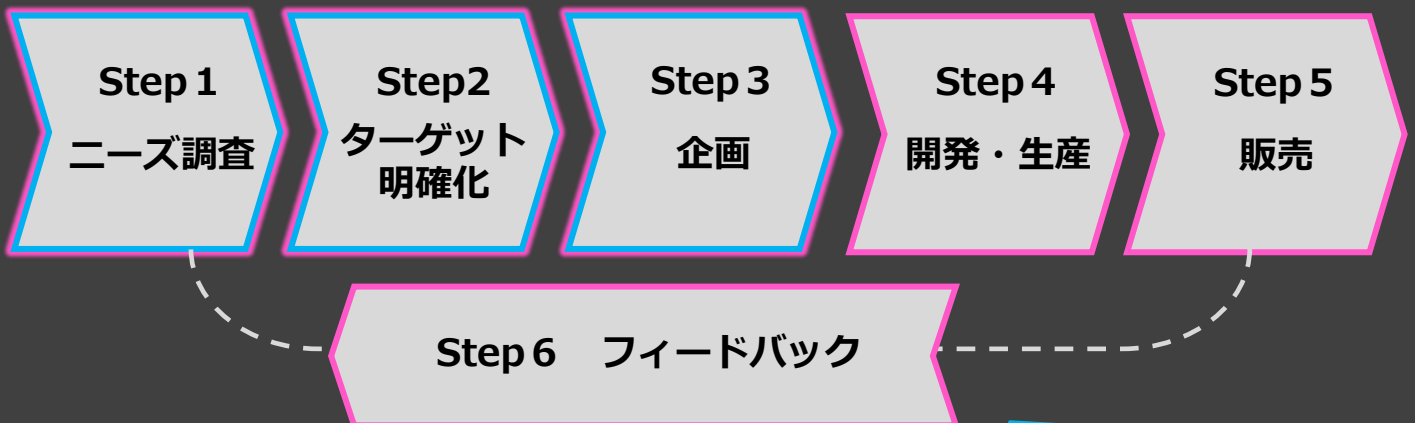
アントレプレナーシップ 中学2年生総合的な学習の時間 教育の実践報告



アントレプレナーシップ教育(以下アントレ)、すなわち「起業家教育」とは高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら、新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きていくために必要な力の育成のための教育手法。2019年度、本校の中学部2年生では総合的な学習の時間で北京という地の利を生かしたアントレを行いました。1学期にはキャノンとタイアップし「ニーズ調査」「ターゲット明確化」「企画」まで、さらに2学期には会社をつくり秋まつりに出店し、「開発・生産」「販売」「フィードバック」を体験しました。

1学期 キャノンとアントレ!

2学期 秋まつりでアントレ!



マーケティング講座

一連のプログラムに入る前に、日本からマーケティングを仕事としているプロの方を招き講話をしていただきました。モノやサービスを売るプロセスや視点について学びました。(2019. 6.6)





CANON × ENTREPRENEURSHIP

課題設定



北京には大手日系企業が多数あります。その中で、キヤノン中国に出前授業をして頂きました。「はたらく」ことの本质は？「はた(傍)」を「らく(HAPPY)」にすること。さらに、生徒にある課題を出してもらいました。その課題とは…「カメラ・写真の新しい使い方を提案しなさい」というもの。

課題解決



制限時間 2 週間で 5 人グループに分かれこの課題に協力して取り組みました。2 週間後はキヤノン中国オフィスに出向き社員の前でプレゼン大会。各グループが「ニーズ調査」「ターゲット明確化」を意識し、誰も思いつかない企画を立ち上げます。プレゼンテーションの準備も念入りに行います。

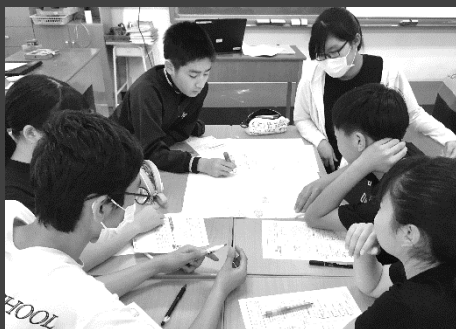
プレゼン！



キヤノン中国オフィスの大きな会議室。社員の前で各グループが考えた企画をプレゼン。審査する大人も真剣。生徒はますます緊張します。その分、力を出し切ったあとの達成感は大きなものでした。社員の方は「とてもいいアイデアが沢山あった。今後の仕事に生かしたい」と褒めて頂きました。



2019.6.14 出前授業



グループごとにプレゼン準備



2019.7.4 プレゼン本番



優勝チームは「離れた家族とコミュニケーションのとれるカメラ」を提案したチーム。日本で生活する家族や親戚・友だちと離れて北京で暮らす生徒ならではの発想が生かされたプレゼンテーションでした。



生徒の感想より

今まで考えたことのない課題を元に、じっくりと時間をかけて考えることが楽しかった。また、何も無い所からつくりあげることの楽しさ、そして難しさを知ることができた。



ターゲット設定



北京では毎年秋に、日本倶楽部主催「秋まつり」があります。そこで本校の中2も1学期にキヤノンから学んだ事を生かし会社をつくり出店することに。秋まつりのお客さんの「ニーズ」は何か、どんな人をターゲットにするか…、会議から。



会社ごとにミーティング

企画・商品開発



ターゲットは「小学生以下の子どもたち」と設定し、サービスの内容を考えます。さらに中国の企業とやり取りしながら、商品の仕入れを行います。希少価値を上げる効果を狙って、秋まつり限定のオリジナル商品を開発した会社もありました。



秋まつり限定オリジナルマグカップ

広報活動



広報活動にも力を入れました。なぜなら、小中一貫である北京日本人学校には今回のターゲットである「小学生以下」の年代が多く在籍しているからです。絵の得意な生徒がポスターを作り、各会社が手分けをして教室を回り、魅力をPR!



小学部の教室を回って広報活動

集客戦略



秋まつりの会場では、多くのライバル店が出店します。そこで集客効果を狙って、先着500名に「オリジナルクリアファイル」をプレゼントすることに。北京日本人学校のゆるキャラを用いたクリアファイルを生徒がデザイン・発注しました。



デザイン・発注も生徒の力で

模擬出店・フィードバック



参観日を利用して、来校した保護者や家族の方に模擬出店。接客態度やサービスの内容を客の視点でチェックしてもらい、「お客様アンケート」をとりました。頂いた意見は、各会社にフィードバック。本番の出店に生かしました。



丁寧な接客を心がけます

販売!



秋晴れに恵まれた秋まつり本番。各会社が工夫を凝らした飾りつけと元気な呼び込みで、会場を盛り上げます。お客の足が途切れる事なく、開店から閉店まで、多くの方に楽しんでいただけました。



2019.10.27 秋まつり本番



秋まつり当日。各会社がくじや輪投げ、スーパーボールすくいなどのアトラクションを提供し、ターゲットに設定した小学生以下の笑顔もたくさん見られました。まさに「はた(傍)らく(HAPPY)」が達成された証拠です。

生徒の感想より

人生で初めて商品の仕入れからサービスの内容を企画・製作などをした。準備はとても大変だったがお金を稼ぐ楽しさと難しさを知れた。笑顔で帰っていくお客さんを見て嬉しかった。

Term3



3学期

Step 7
社会還元

秋まつりで得た収益金。「学校のみなを HAPPY にする」使い方を考えました。そこで、毎朝学校のみなが必ず通る玄関の壁を明るく楽しくなる大きな絵で塗装することに。イラストは2年生全員が一案ずつ考え、そこから3つの案に絞り、壁画にしました。

図案



BEFORE



AFTER

日本の中学2年生で行う「職場体験」を行うには難しい環境ではありますが、アントレ学習を取り入れることで、働くことについて身をもって学び、さらにはこれからの時代を生きる力を身につける機会となりました。